

# 開催概要

## 1. 会の名称

第 54 回日本実験動物技術者協会総会 in 旭川

## 2. 組織委員

大会長 清水 範彦 (旭川医科大学 教育推進研究センター)

組織委員長 日野 千紘 (旭川医科大学 教育推進研究センター)

事務局長 一戸 一晃 (公益財団法人 環境科学技術研究所)

以下、別紙「日本実験動物技術者協会 第 54 回旭川大会組織委員会」の通り

## 3. 会 期

2020 年 10 月 23 日 (金)、10 月 24 日 (土)

(サテライトセミナー 10 月 22 日 木曜日)

## 4. 会 場

旭川市民文化会館

〒070-0037 北海道旭川市 7 条通 9 丁目

## 5. 会の目的と意義

一般社団法人日本実験動物技術者協会 /Japanese Association for Experimental Animal Technologists (JAEAT) は、実験動物科学の一翼を担う実験動物技術者の全国的な組織です。会員数は 1,000 名を数え、医学・薬学・獣医学系大学および公的研究所、製薬企業、動物生産企業、受託研究機関、さらに人材派遣企業等に所属する実験動物技術者で組織されています。

本協会は年に 1 回、学術集会として全国大会を開催しており、本大会においても最新情報の紹介や会員間の情報交換のための貴重な場を提供するために、一般演題や各種講演、セミナー、シンポジウムなどの多彩なプログラムを企画しています。

弊協会にとって旭川では 10 年ぶりの開催となる第 54 回大会は、旭山動物園をはじめ、札幌、富良野、美瑛などへの観光も兼ねて多くの参加者が見込まれております。本大会を実験動物科学の学術的発展に寄与し、ひいては社会への貢献を果たしうるものとすべく、準備を進めております。

---

## 6. 開催計画の概要

今大会のテーマを「実験動物技術の開拓者たちよ、大志を抱け！」といたしました。

昨今の実験動物業界は人員不足が深刻化しつつあります。弊協会の会員数が近年減少傾向にあることから人員の不足はすでに具体的な数字としても見て取ることができます。これは単純に現場のマンパワーが不足するという問題にとどまらず、私ども技術者にとっては外部との情報交換がしにくい閉鎖的な環境や、問題が起きた時にも、一人であらゆる状況に対応せざるを得ない「孤立」につながっています。

そんな時代を迎えて私ども技術者は、ただ井の中の蛙に甘んじて待つのではなく、必要な情報を求めて外に踏み出すことが重要です。今大会がそんな一歩になれば幸いです。

ひとり一人が更なるステップアップを目指す開拓精神を持って躍進するには、はじめの一歩は小さく、日常の業務の中で昨日よりも少しだけ新しいことに挑戦してみる、明日は一カ所だけでいいから業務の改善を試みる、ということが精いっぱいかもしれません。ですがその経験が糧となってやがて大海を泳げる力を得るのです。

だから、「実験動物技術の開拓者たちよ、大志を抱け！」。今は一人かもしれませんが、開拓精神をもって外に踏み出せば、多くの仲間がいます。先輩の技術者たちが歩いた道があれば、現役の若い技術者たちのこれからの歩みによって築かれる道もあることでしょう。切り拓いた道の一本一本は細くても、寄り集まれば未来に続く大きな道となるはずです。

今大会では会期前日のサテライトセミナーから最終日のシンポジウムに至るまで工夫をこらし、第一線で活躍する実験動物技術者たちにチャレンジしていきます。また、特別講演では北海道の地ならではのヒグマ問題を取り上げ、人とヒグマとの共生について考える機会を設けました。

開拓の地、北海道で明日への一歩を踏み出す機会を、今大会で皆様とつくることができれば幸いです。

---

## 7. 参加者数

約 600 名（予定）

---

## 8. 収支予算概要

別紙「収支予算書」の通り

2019年12月20日作成

## 第54回日本実験動物技術者協会総会 in 旭川 収支予算書

## 【収入の部】

項	小項目	予算	合計	適 用
1.大会助成金および協賛金			2,280,000	
1)	本部補助金	500,000		
2)	北海道支部基金	200,000		
3)	奥羽支部基金	100,000		
4)	協賛金	1,480,000		
2. 大会参加費収入			3,401,000	
1)	実技協会員 事前申込	1,750,000		7千円×250名
	実技協会員 当日申込	441,000		9千円×49名
2)	非会員 事前申込	630,000		9千円×70名
	非会員 当日申込	550,000		1万1千円×50名
3)	学生 事前申込	15,000		3千円×5名
	学生 当日申込	15,000		5千円×3名
3. 大会企画収入			2,380,000	
1)	器材展示ブース	1,200,000		日本実験動物器材協議会
2)	広告掲載費	900,000		30社(平均1件、3万円で算出)
4)	ホスピタリティルーム・販売など	220,000		2社(1件11万円)
5)	バナー広告	60,000		3社(1件2万円)
4. 懇親会参加費収入			1,400,000	
1)	事前申込	840,000		6千円×140名
2)	当日申込	560,000		8千円×70名
3)	講師・関係者等招待	0		
5. その他収入			4,030	
1)	要旨集販売	4,000		1冊2千円×2冊
2)	受取利息	30		
	計		9,465,030	

【支出の部】

項	小項目	予算	合計	適 用
1.講師費			1,080,420	
1)	謝礼金	260,000		1人2万円、講師13名で計算
2)	旅費・交通費	800,000		5人を近場から、8人を遠方から招いた場合で計算
3)	源泉取得税	20,420		10.21%で計算
2.印刷費			946,060	
1)	要旨印刷費	830,000		820部
2)	チラシ	21,020		片面4色・A4、500枚+800枚（アドスリー）
3)	総会議案書作成費	95,040		160部
3.大会運営費			3,413,992	
1)	会場費	778,742		旭川市民会館、+評議員会会場 OMO7、ゲストルーム
2)	スタッフ運営費	400,000		スタッフ弁当、大会スタッフ交通費等
3)	記念品費	300,000		参加記念品、実験動物技術功労賞、デビュー賞等
4)	懇親会費	1,935,250		OMO7 300名宴会、景品
4.事務費			560,000	
1)	事務費	300,000		大会封筒デザイン、印刷 角2×3000枚、長3×500枚
2)	通信費	260,000		DM発送、郵送料、配送料
5.業務委託費			2,479,700	
1)	運営協力費	1,714,700		株式会社イベントサービス（画紙、PC、プロジェクト込み）
2)	デザイン料	160,000		大会ロゴ、参加記念品等
3)	ホームページ作成・管理	605,000		株式会社アドスリー
6.会議費			323,000	
1)	会議費	300,000		大会長挨拶まわり、旅費・交通費等
2)	交際費	20,000		
3)	雑費	3,000		
7.返済金・寄付			661,858	
1)	本部立替金	0		
2)	支部補助金返済	300,000		北海道支部、奥羽支部
3)	予備費	361,858		
	計		9,465,030	

## 日本実験動物技術者協会第54回 旭川大会組織委員会

大会長	清水 範彦	旭川医科大学 教育研究推進センター
副大会長	高橋 智輝	岩手医科大学 医歯薬総合研究所
組織委員長	日野 千紘	旭川医科大学 教育研究推進センター
副組織委員長	室田 宏之	北海道大学 遺伝子病制御研究所
学術委員	上田 潤	旭川医科大学 教育研究推進センター
	吉松 組子	北海道大学 遺伝子病制御研究所
事務局長	一戸 一晃	(公財)環境科学技術研究所
事務局会計	宮下 早奈枝	札幌医科大学 動物実験施設部
編集委員長	若井 淳	岩手医科大学 医歯薬総合研究所 動物研究センター
編集委員	安野 航	岩手医科大学 医歯薬総合研究所 動物研究センター
	場崎 恵太	秋田大学 バイオサイエンス教育・研究サポートセンター
	白濱 育美	弘前大学大学院医科学研究科 附属動物実験施設
組織委員	玉置 雅祥	札幌医科大学 動物実験施設部
	永井 雅晴	(株)ホクドー
	椎橋 明広	三協ラボサービス(株)
	西村 浩樹	(株)ホクドー
	溝口 定之	オリエンタル酵母工業(株)
	小林 元	北海道医療大学 動物実験センター
	近藤 和久	(株)ホクドー
	佐井 武留	(株)ホクドー
	西堀 頼史	(株)新薬リサーチセンター
	小玉 雄介	三協ラボサービス(株)
	中村 大輔	三協ラボサービス(株)
	千葉 博信	旭川医科大学 教育研究推進センター
	鮫澤 俊則	旭川医科大学 教育研究推進センター
	早川 寿行	旭川医科大学 教育研究推進センター
	小山内 努	元北海道大学医学研究院 附属動物実験施設
	佐々木 崇	札幌医科大学 動物実験施設部
	永野 夏生	札幌医科大学 動物実験施設部
大会顧問	松本 成史	旭川医科大学 教育研究推進センター